

3月 里のたより



2020年3月号 (No.45)

社会福祉法人白根学園 しらねの里

編集 広報担当

〒241-0001

《白根学園 HP》

横浜市旭区上白根町 1092 番地

TEL 045-954-5210

FAX 045-954-2337

E-mail shirane-sato@shirane.or.jp

“笑顔”

しらねの里、しらねの里・げんき、ホーム里 菅野 善也

例年、この季節は「花粉症」「インフルエンザ」といった、いわば国民病といわれる症状で苦しい日々を過ごされる方が多くあります。ところが今年には「新型コロナウイルス」が年明けより話題となり、地元横浜の港に接岸された客船が全世界の注目を浴びました。対応に迫られる医療スタッフを始め、関係機関の対応に賛否が寄せられる状況を目の当たりにし、日々の感染状況等に恐々としています。この2ヶ月の間でウィルスの猛威はあっという間に全世界に広まり、今では、ヨーロッパ方面でのパンデミック的な発生が注目されている状況です。

国内においても非常事態宣言が出される一歩手前の状況に近く、全国的に学校が休校になったり、職場の時差出勤であったりテレワークということで人々が交わる場を極力減らすことで感染拡大を踏みとどまっている世の中となってしまいました。この時期の日本では桜がほころび始め、心躍る一番の季節でもあり、年度の切り替わりの季節で新しい環境に向けて大勢の人が異動をしていく時期でもあります。日本人として、別れと出会いのある一番大切にしているこの時期ではありますが、世界的な情勢には逆らうことができず今はジッと我慢するしかありません。

そのような中ではありますが、横浜において桜の開花宣言があり、しらねの里の周囲にありますが桜の木々のつぼみも少しずつ、ほころび始めようとしています。桜の咲く中で、大勢で過ごすのが当たり前のようになっていますが、このような時だからこそ静かに春の訪れを感じる桜をにこやかに眺める時間を作るのがいいのかもしれません。

「花より団子」といわず日本のシンボリックな桜を眺め笑顔で季節を過ごしたいと思います。しらねの里では、この1年悲しい別れもありました。うれしい出会いもたくさんありました。一つ一つが利用者の皆様も保護者の皆様もそれぞれに心に刻まれたことがあると思います。

一つひとつを振り返り新たな気持ちで新年度を笑顔で迎えましょう。



里イベント告知欄 ⇒ 創立記念会食

日時：5月15日(金)

会場：Socia21

今年も利用者みなさんに喜んでいただけるように
雰囲気大切にイベントにしていきたいです！！



※昨年度の創立記念会の様子。

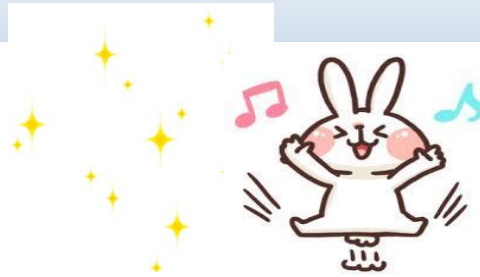


☆ Y ネットセミナー

2月17日、Yネットセミナーが横浜ワールドポーターズにて開催されました。

「人権について学ぶ」というテーマで、劇団の寸劇をみて、利用者さんが感じた事、思った事を発表する形で行われました。他施設交流も兼ねて名刺交換もあり、緊張する中でも素敵な回答やはじめての方との出会いに笑顔もみられました。

しらねの里 今井



☆ 節分 ☆



☆ 納め会 ☆



正職員・嘱託（パート）職員・ボランティアさん募集中！

正規の支援員・嘱託の支援員補助・宿直職員・調理員など性別・資格問わず、各部署で募集中です。
まずは見学して自分に合う仕事があれば是非トライして下さい。

社会福祉法人 白根学園



昭和 35（1960）年 5 月 12 日、白根学園児童寮は旭区白根 7 丁目の地に誕生しました。

創業者 三木信之・芳夫妻には、ダウン症の息子さんがいました。当時、障がいゆえに義務教育を受けられないわが子のために、学校教育に代わる場、安心して生活ができる場として、5 人の知的障がいのある子ども達と共に白根学園をスタートしました。以来、59 年が経過し、13ヶ所の事業所で 848 人の障がいのある人達に何らかのサービスを提供できるようになりました。常勤 310 人、嘱託職員等 281 人は、創業者が掲げ法人の基本理念として残る次の言葉を旨に、

自分に課せられた役割を果たしています。『知識より 信仰より 愛を以て第一となす』

創業者 三木 信之